

はじめに

本操作ガイドはSimulation-Space特有の操作に対しての操作ガイドとなります。

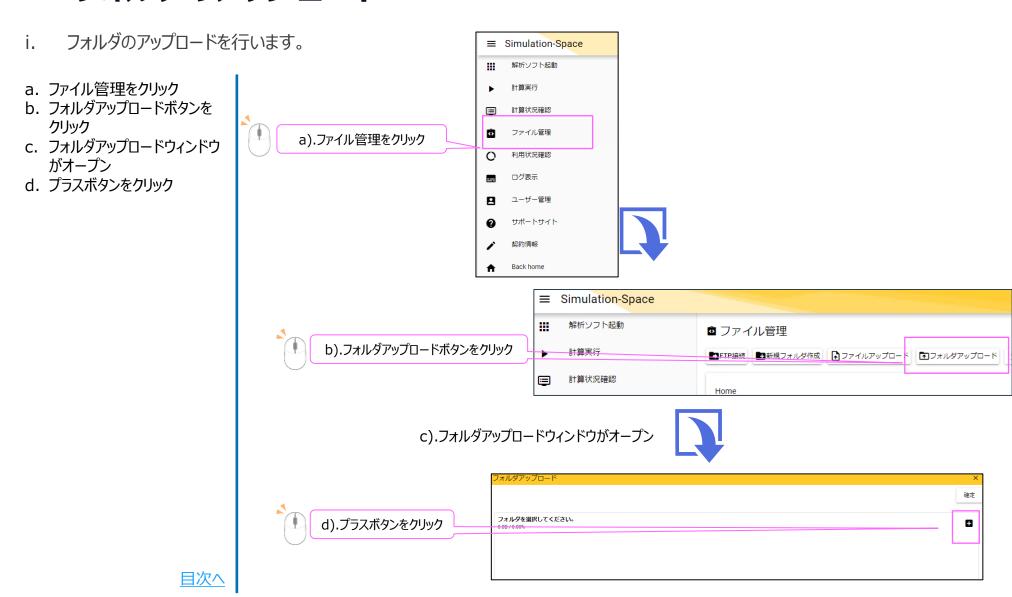


目次

フォルダのアップロード	4			
解析ソフトの起動	6			
Cradle CFD(STREAM)を初めて利用	するときに行う	初期影	设定	7
<u>Cradle CFD(scFLOW)を初めて利用</u>	するときに行う	初期設	定	13
解析ソフトの計算実行(Cradle CFD))	2	20	
解析ソフトの終了	22			
計算状況の確認	23			
解析ソフトの起動	25			
フォルダのダウンロード	26			
Cradle CFD利用時の注意事項		27		
【参考】クラウド環境の画面および操作説	<u> </u>		32	
【参考】クラウド環境におけるエクスプロー	ラ利用の注意	点		<u>33</u>
【参考】クラウド環境におけるユーザー名の	の確認方法		34	1



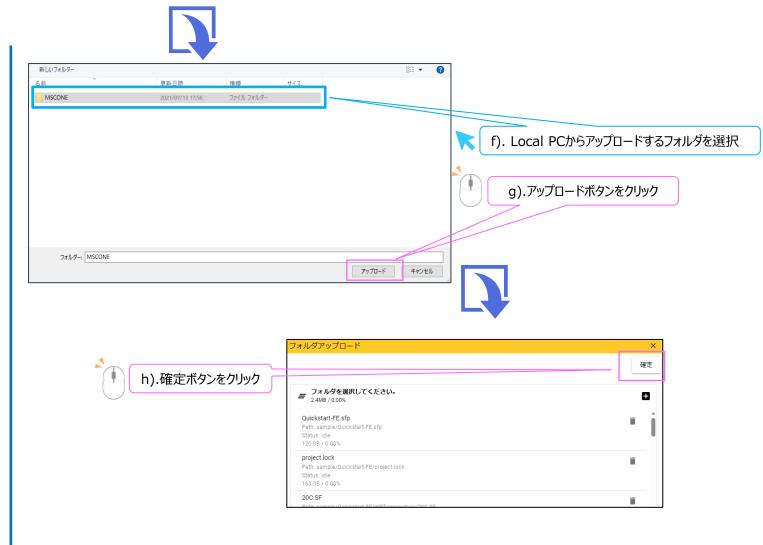
1. フォルダのアップロード





1. フォルダのアップロード

- i. (続き)
- f. Local PCからアップロード するフォルダを選択
- g. アップロードボタンをクリック
- h. 確定ボタンをクリック



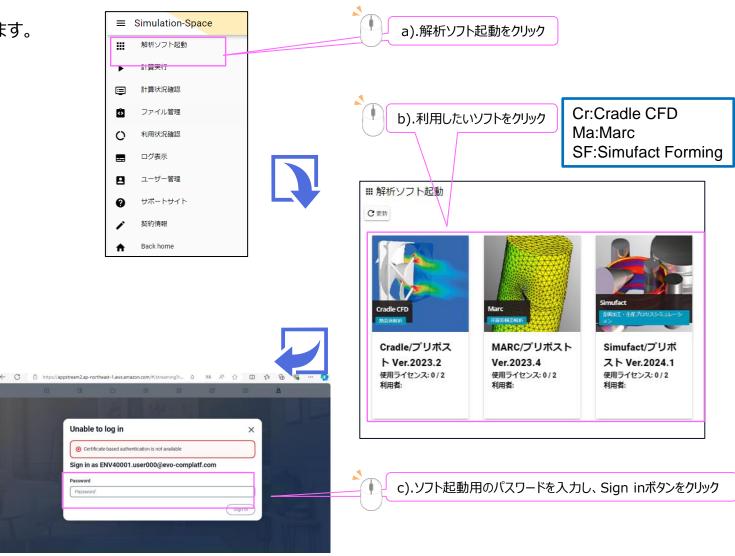




2. 解析ソフトの起動

- ii. 解析ソフトの起動を行います。
- a. 解析ソフト起動をクリック
- b. 利用したいソフトをクリック
- c. パスワードを入力し、Sign inボタンをクリック

※各種ソフト起動には時間が かかります。



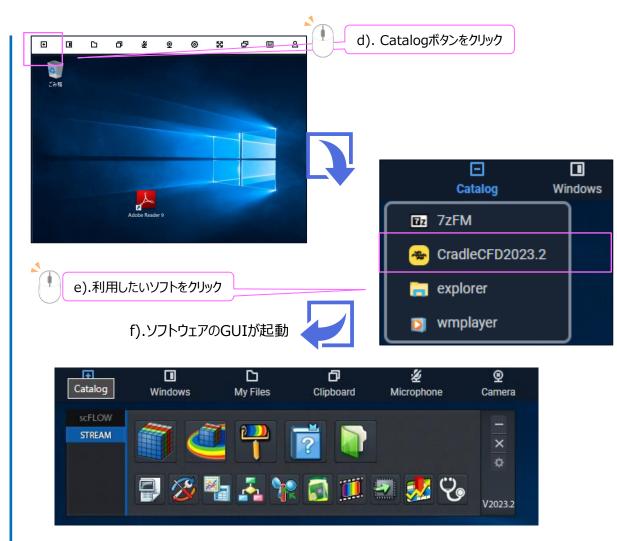




2. 解析ソフトの起動

ii. (続き)

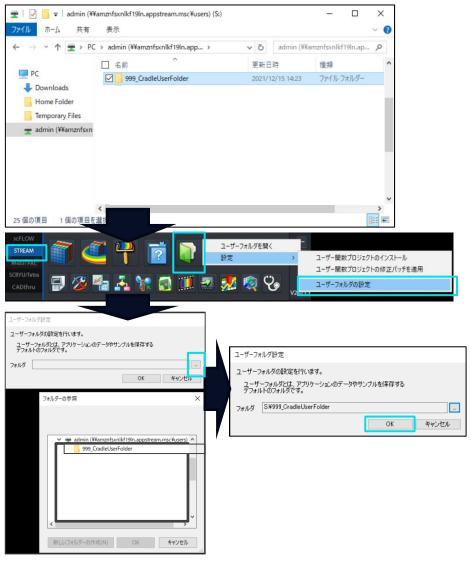
- d. Catalogボタンをクリック
- e. 利用したいソフトをクリック
- f. ソフトウェアのGUIが起動されます







【①ユーザーフォルダの設定】

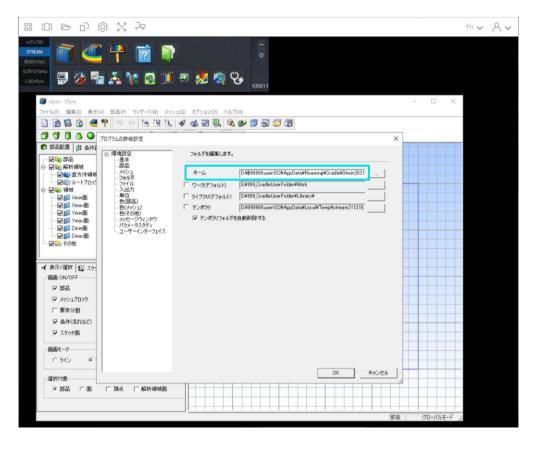


- 左上のカタログアイコンより「explorer」を選択します(explorerの起動方法については<u>34ページ</u>を参照)。
- 2. Sドライブの中に任意の名前のフォルダを作成します(※scFLOWにおける初期設定にてすでに作成している場合は、そのフォルダを流用可)。
- 3. Cradle CFDのSTREAMタブのユーザーフォルダ 設定(緑のフォルダアイコン)を開きます。
- 4. 設定→ユーザーフォルダの設定を選択します。
- 5. 「…」をクリックします。
- 6. 1. で作成したフォルダを選択し、OKをクリックします。
- 7. OKをクリックするとユーザーフォルダが設定されます(ユーザーフォルダには自動的に「Library」、「Projects」、「Samples」、「Work」フォルダが作成されます)。





【②プリGUIのオプション→プログラム詳細設定の変更】



【フォルダ→「ホーム」のアドレス変更】

- 1. STREAMpre(プリGUI)を起動します。初期ウィザードウインドウは×をクリックして閉じます。
- 2. オプション→プログラムの詳細設定を選択します。
- 環境設定→フォルダの設定にある「ホーム」のパスについて、以下のように変更します(参照ボタンを使わずに、パスを直接編集し、Enterキーを押します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場合、 以下のようにします。

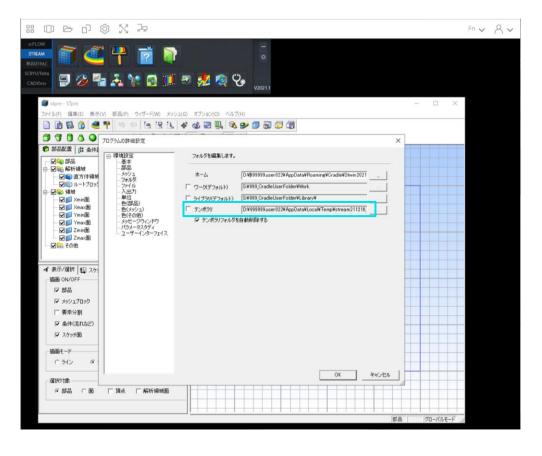
D:\footnote{\text{P}999999.user022}\text{AppData}\text{Roaming}\text{Cradle} \text{YStwin2022}\text{YSTpre}\text{Bx64net}

- ※ユーザー名の確認方法については<u>34ページ</u>をご参照 ください。
- 4. OKをクリックして、プログラムの詳細設定ウインドウを閉じます。次の設定のためにSTREAMpre(プリGUI)は起動したままにします。





【②プリGUIのオプション→プログラム詳細設定の変更】



【フォルダ→「テンポラリ」のアドレス変更】

- 1. オプション→プログラムの詳細設定を選択します。
- 2. 環境設定→フォルダの設定にある「テンポラリ」について、チェックボックスにチェックを入れます。
- 3. パスを以下のように変更します(参照ボタンを使わずに、パスを直接編集し、Enterキーを押します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場合、 以下のようにします。

D:¥999999.user022¥AppData¥Local¥Temp ¥stream{作成日時によって内容が変わります}¥

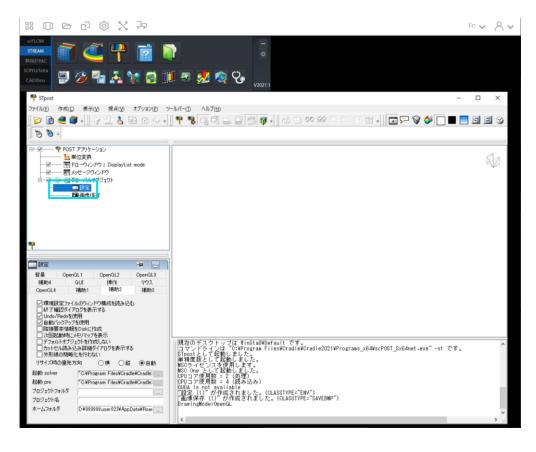
※ユーザー名の確認方法については<u>34ページ</u>をご参照 ください。

- 4. チェックボックスのチェックを外します。
- 5. OKをクリックして、プログラムの詳細設定ウインドウ を閉じます。
- 6. STREAMpre(プリGUI)を閉じます(プロジェクトファイルの保存はしなくてよいです)。





【③ポストGUIにおける初期変更】

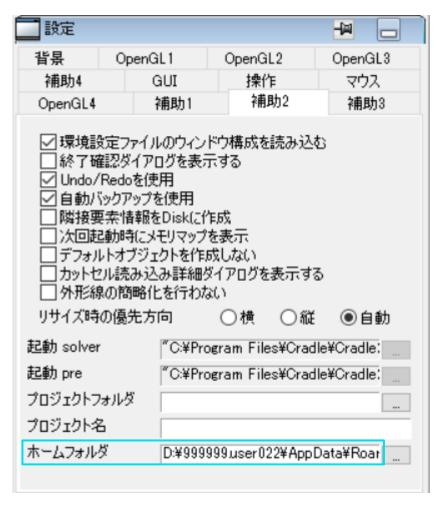


【設定→「補助2」の「ホームフォルダ」の変更】

- 1. STREAMpost(ポストGUI)を開きます。
- 2. プログラムのデフォルトウインドウで、
 「Version2022基本モード」を選択し、OKをクリックします。以降の作業は、Version2021基本モードで使用している前提とします。
- 3. ツリーの中にある「設定」をダブルクリックします。ツ リーの下に設定ウインドウが開きます。
- 4. 「補助2」タブをクリックします。



【③ポストGUIにおける初期変更】



【設定→「補助2」の「ホームフォルダ」の変更】(つづき)

5. ホームフォルダのパスについて、以下のように変更します(参照ボタンを使わずに、パスを直接編集します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場合、 以下のようになります。

D:\forall D:\forall P999999.user022\forall AppData\forall Roaming\forall Cradle \forall STwin2022\forall scPOST_Sx64net\forall

※ユーザー名の確認方法については<u>34ページ</u>をご参照く ださい。

6. STREAMpost(ポストGUI)を閉じます。





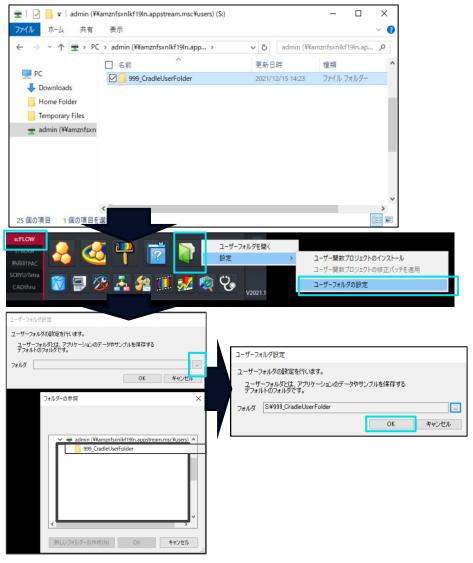
【④注意事項】

- STREAMの初期設定は以上です。以降は、通常どおり使用できます。 【注意事項】
 - •「初期設定」で定義した「ユーザーフォルダ」は、消去しないでください。
 - •「初期設定」は、以降の作業において変更しないでください。



目次へ

【①ユーザーフォルダの設定】

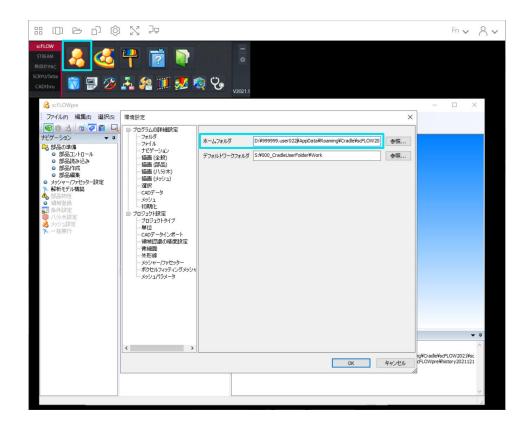


- 左上のカタログアイコンより「explorer」を選択します(explorerの起動方法については<u>34ページ</u>を参照)。
- 2. Sドライブの中に任意の名前のフォルダを作成します(※STREAMにおける初期設定にてすでに作成している場合は、そのフォルダを流用可)。
- 3. Cradle CFDのscFLOWタブのユーザーフォルダ 設定(緑のフォルダアイコン)を開きます。
- 4. 設定→ユーザーフォルダの設定を選択します。
- 5. 「…」をクリックします。
- 6. 1. で作成したフォルダを選択し、OKをクリックします。
- 7. OKをクリックするとユーザーフォルダが設定されます(ユーザーフォルダには自動的に「Library」、「Projects」、「Samples」、「Work」フォルダが作成されます)。





【②プリGUIのオプション→環境設定の変更】



【フォルダ→「ホームフォルダ」のアドレス変更】

- scFLOWpre(プリGUI)を起動します。プロジェクト選択のウインドウは×をクリックして閉じます。
- 2. オプション→環境設定を選択します。
- 3. プログラムの詳細設定→フォルダの設定にある「ホームフォルダ」のパスについて、以下のように変更します(参照ボタンを使わずに、パスを直接編集し、Enterキーを押します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場合、以下のようにします。

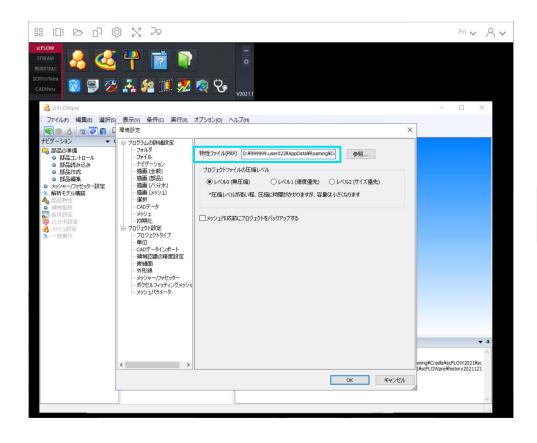
D:¥999999.user022¥AppData¥Roaming¥Cradle¥ scFLOW2022¥scFLOWpre

- ※ユーザー名の確認方法については<u>34ページ</u>をご 参照ください。
- OKをクリックして環境設定ウインドウを閉じます。 次の設定のためにscFLOWpre(プリGUI)は起動したままにします。





【②プリGUIのオプション→環境設定の変更】



【ファイル→「物性ファイル(PRP)」のアドレス変更】

- オプション→環境設定を選択します。
- プログラムの詳細設定→ファイルの設定にある 「物性ファイル(PRP)」のパスについて以下のよ うに変更します(参照ボタンを使わずに、パスを 直接編集し、Enterキーを押します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場 合、以下のようにします。

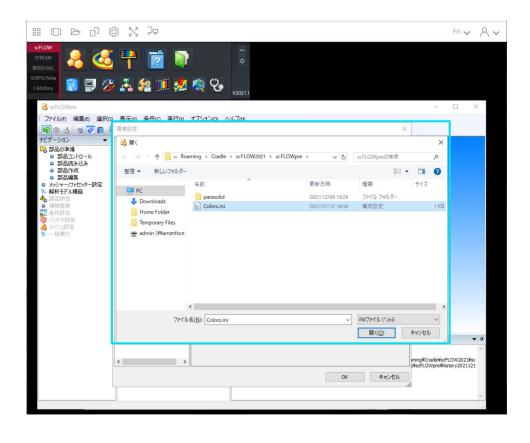
D:¥999999.user022¥AppData¥Roaming¥Cradle

- ※ユーザー名の確認方法については34ページをご 参照ください。
- OKをクリックして環境設定ウインドウを閉じます。 次の設定のためにscFLOWpre(プリGUI)は起 動したままにします。



目次へ

【②プリGUIのオプション→環境設定の変更】



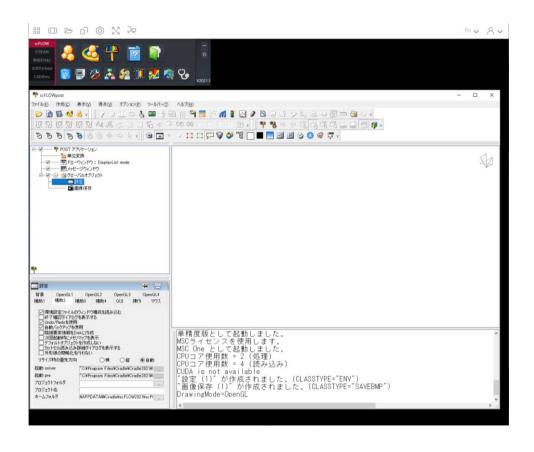
【CADデータ→「対応付けファイル」Colors.iniのアドレス変更】

- 1. オプション→環境設定を選択します。
- プログラムの詳細設定→CADデータの設定にある 「対応付けファイル」について、「参照」をクリックしま す。エクスプローラが開きます。
- 3. エクスプローラにて、フォルダパスを入力する欄に 「C:¥Users¥」と打ち込み、エンターキーを押します。
- 4. {ユーザー名}のショートカット
 →AppData→Roaming→Cradle→
 scFLOW2022→scFLOWpreの順にクリックし、
 その中にある「Colors.ini」をクリックします。
- 5. 「開く」をクリックします。
- OKをクリックし環境設定ウインドウを閉じます。
- 7. scFLOWpre(プリGUI)を閉じます(プロジェクトの保存はしなくてよいです)。





【③ポストGUIにおける設定変更】



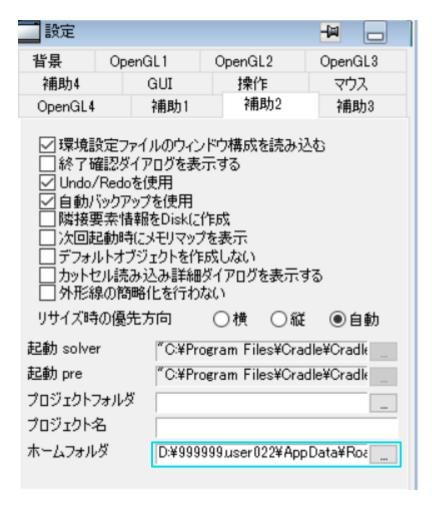
【設定→「補助2」の「ホームフォルダ」の変更】

- scFLOWpost(ポストGUI)を開きます。
- 2. プログラムのデフォルトウインドウで、「キャンセル」 をクリックします。Advancedモードで起動いたし ます。
- ツリーの中にある「設定」をダブルクリックします。 ツリーの下に設定ウインドウが開きます。
- 「補助2 |タブをクリックします。



目次へ

【③ポストGUIにおける設定変更】



【設定→「補助2」の「ホームフォルダ」の変更】(つづき)

5. ホームフォルダのパスについて、以下のように変更します(参照ボタンを使わずに、パスを直接編集します)。

※たとえばユーザー名が、「999999.user022」の場合、以下のようになります。

D:\forall \text{P999999.user022} \text{AppData} \text{Roaming} \text{Cradle} \text{\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$}\text{\$\text{\$}\text{\$\text{\$\text{\$}\text{\$\text{\$}\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$}\text{\$\$\text{\$\exitit{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\}\$}}\$}\$}}\$}}}}}} \endotines \endoting{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex

※ユーザー名の確認方法については<u>34ページ</u>をご参照ください。

- 6. scFLOWpost(ポストGUI)を閉じます。
- 7. scFLOWpost(ポストGUI)をふたたび起動します。
- 8. オプション→プログラムのデフォルトを選択します。
- 9. 使用したいモードを選択し、OKをクリックします。以後 scFLOWpost(ポストGUI)は、ここで選択したモードに で起動できます。





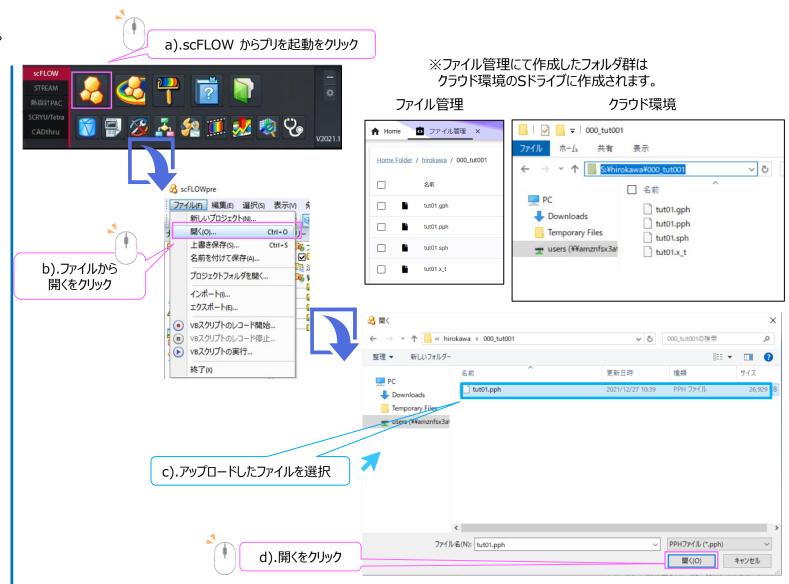
【④注意事項】

- scFLOWの初期設定は以上です。以降は、通常どおり使用できます。 【注意事項】
 - •「初期設定」で定義した「ユーザーフォルダ」は、消去しないでください。
 - •「初期設定」は、以降の作業において変更しないでください。



5. 解析ソフトの計算実行(Cradle CFD)

- v. 計算実行を行います。
- a. scFLOWからプリを起動を クリック
- b. ファイルから開くをクリック
- c. アップロードしたファイルを選択
- d. 開くをクリック

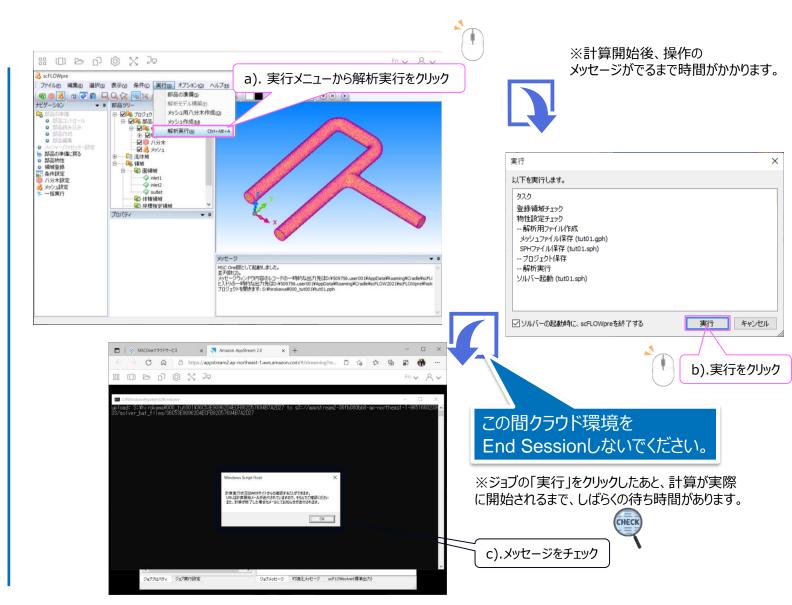




目次へ

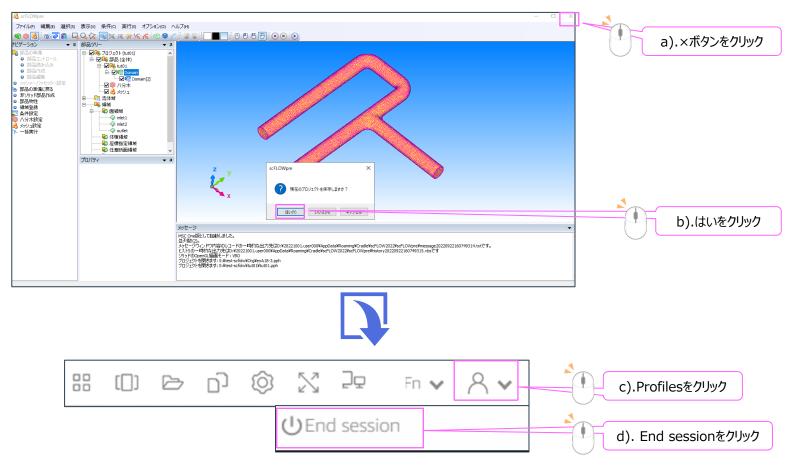
5. 解析ソフトの計算実行(Cradle CFD)

- v. (続き)
- a. 実行メニューから解析実行 をクリック
- b. 実行をクリック
- c. メッセージをチェック



6. 解析ソフトの終了

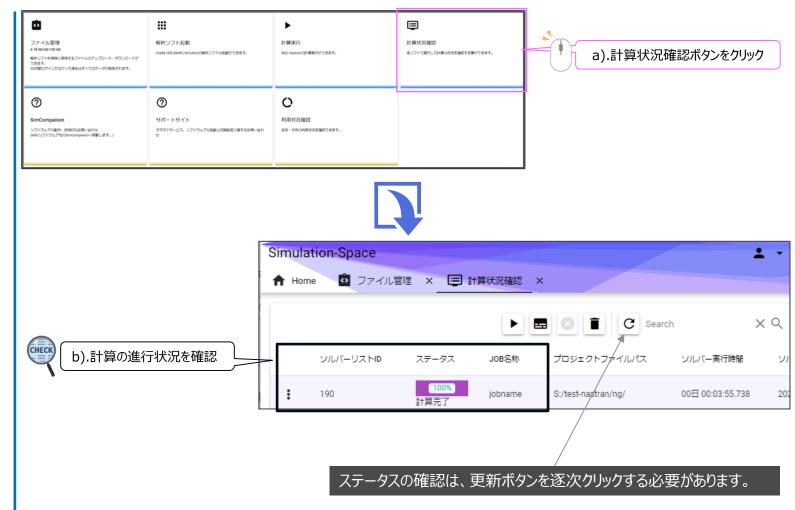
- vi. 解析ソフトとクラウド環境を終了します。
- a. ×ボタンをクリック
- b. はいをクリック
- c. Profilesをクリック
- d. End sessionをクリック
- ※各種ソフトを利用後に「End Session」にて閉じた直後は、 利用ができなくなります。5分程 度待ってから再度ご利用下さい。





7. 計算状況の確認

- vii. 計算状況の確認を行います。
- a. 計算状況確認ボタンをクリック
- b. 計算の進行状況を確認





7. 計算状況の確認

vii. (続き)

- a. ボタンをクリック
- b. □グ表示をクリック
- c. 計算結果ファイルを確認
- d. ×ボタンをクリック

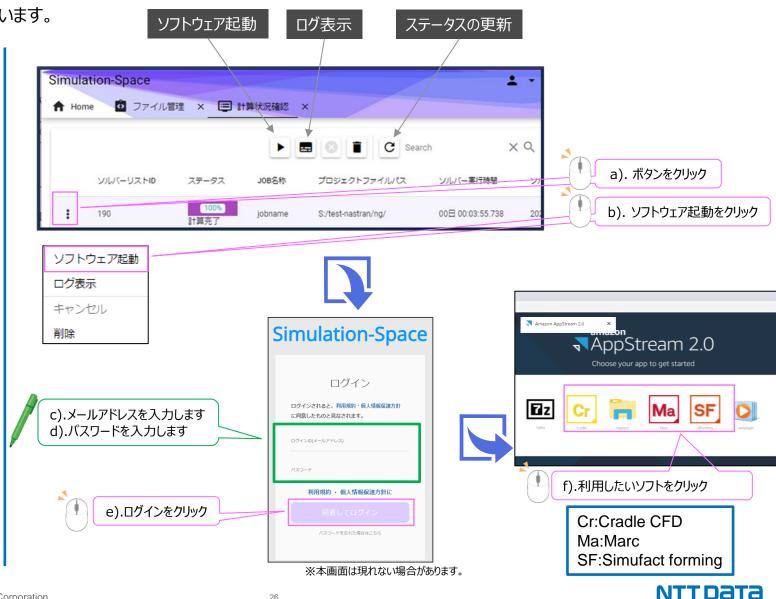




8. 解析ソフトの起動

viii.解析ソフトの起動を行います。

- a. ボタンをクリック
- b. ソフトウェア起動をクリック
- c. メールアドレスを入力
- d. パスワードを入力
- e. ログインをクリック
- f. 利用したいソフトをクリック

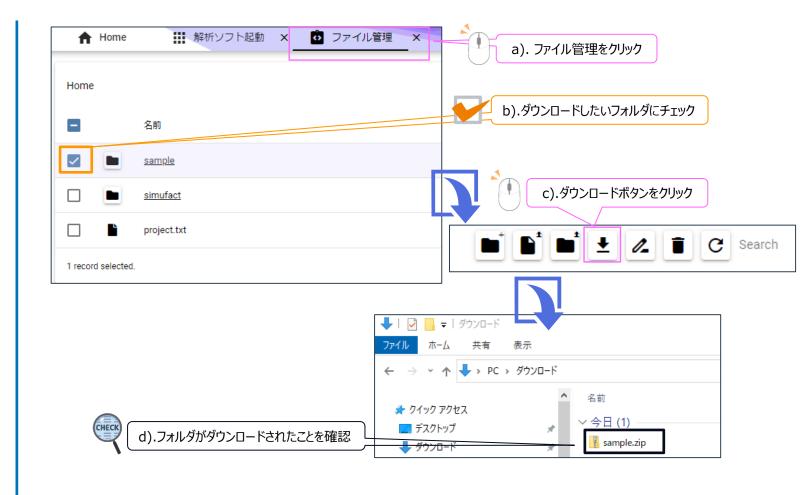


26

目次へ

9. フォルダのダウンロード

- ix. 計算が完了したファイルをLocal PCにダウンロードを行います。
- a. ファイル管理をクリック
- b. ダウンロードしたいフォルダに チェック
- c. ダウンロードボタンをクリック
- d. フォルダがダウンロードされた ことを確認







【制限事項】

• scFLOWの「解適合解析」については、現在ご利用いただくことができません。

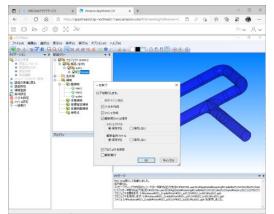
【注意事項】

- Cradleの例題はC:\(\frac{2}{3}\) Work\(\frac{2}{3}\) Cradle_Sample\(\frac{2}{3}\) にあります。
- Sドライブ以外に保存したファイルは、クラウド環境をログアウトした場合に削除されます。
- クラウド環境において、15分操作しないと自動的にログアウトされます。
- 「起動設定」にて「ライセンス形態」「ライセンスモード」を変更すると、ソフトが起動できなくなりますので、 設定変更をしないでください。

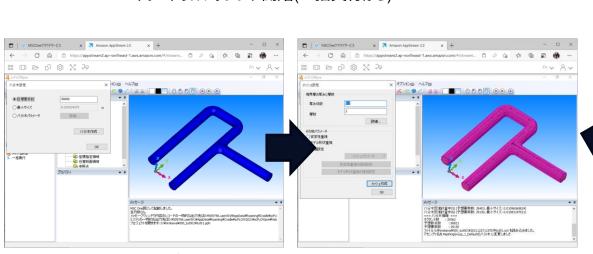
【注意事項】

- ポリヘドラルメッシング実行時には、開始後しばらくしてから、「計算実行状況はWebサイトからも確認することができます・・・」というポップアップが開きます。このポップアップが開くまでは、scFLOWpreを終了したり、クラウド環境のEnd Sessionを実施しないでください(次ページ参照ください)。
- まれに、計算を開始しても、scMonitorのジョブスケジューラにおける「状況」が「実行待機中」のままで変化しないことがあります。この場合でも、トップページの「計算状況確認」でステータスが「計算中」となっていれば、計算は始まっています。

【scFLOWポリヘドラルメッシング】

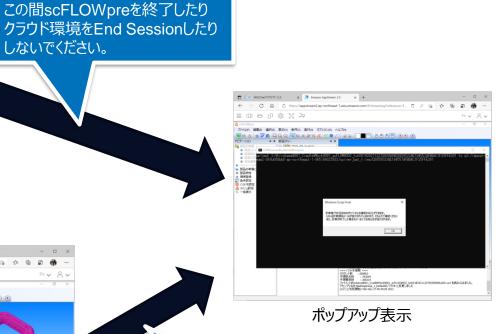


ポリヘドラルメッシング開始(一括実行から)



八分木メッシング開始

ポリヘドラルメッシング開始(メッシュ設定から)



この間scFLOWpreを終了したり

しないでください。

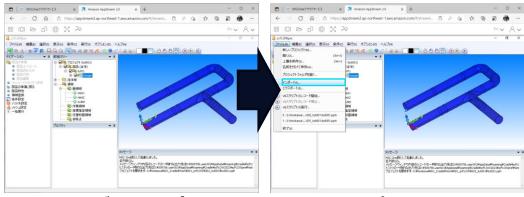
クラウド環境をEnd Sessionしたり



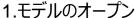


しないでください。

【参考:メッシング中セッション終了した場合のメッシングデータの読み込み方法】

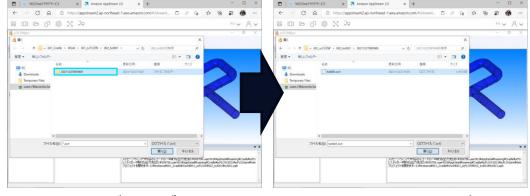


- 1. scFLOWpre(プリGUI)を起動し、メッシングを実施したモデルを開きます。
- 2. ファイル→インポートを選択します。





2.「インポート」の実行



3.メッシングフォルダの選択

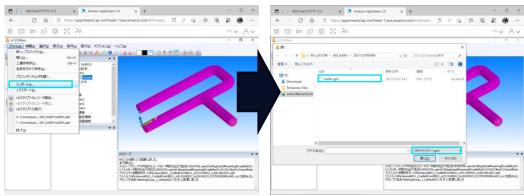
4.*.octファイルのオープン

- 3. モデルファイルがあるフォルダにできているメッ シングフォルダ({日付・時刻(時分秒)}のフォ ルダ)をダブルクリックします。
- 4. ファイルの種類を*.oct(八分木メッシュデータ)とし、*.octファイルを開きます。八分木メッ シュがモデルに読み込まれます。





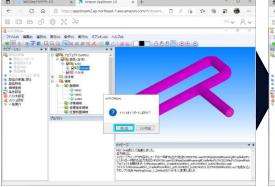
【参考:メッシング中セッション終了した場合のメッシングデータの読み込み方法】



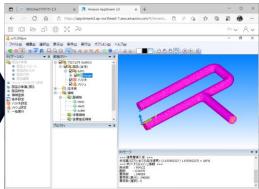
5.「インポート」の実行

6.*gphファイルのオープン

- 5. ファイル→インポートを選択します。
- 6. ファイルの種類を*.gphとし、メッシングフォルダ({日付・時刻(時分秒)}のフォルダ) 内の*.gphファイルを開きます。



7.*.gphのインポート

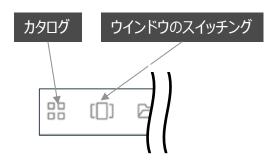


完成

7. 「メッシュをインポートしますか?」のポップアップに対して、「はい」をクリックします。ポリヘドラルメッシュがインポートされます



【参考】クラウド環境の画面および操作説明

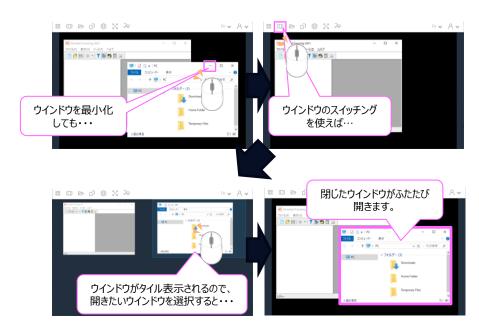


【カタログ】

ソフトウェアを起動できます。

【ウインドウのスイッチング】 アクティブにしたいウインドウを選択できます。

最小化したウインドウをふたたび開くこともできます。





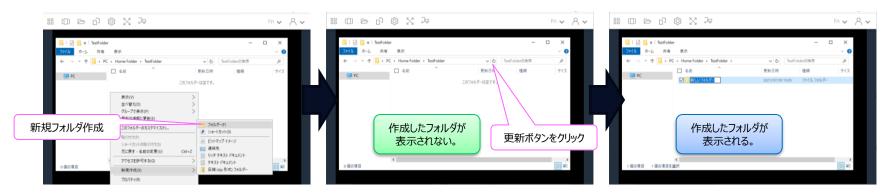


【参考】クラウド環境におけるエクスプローラ利用の注意点

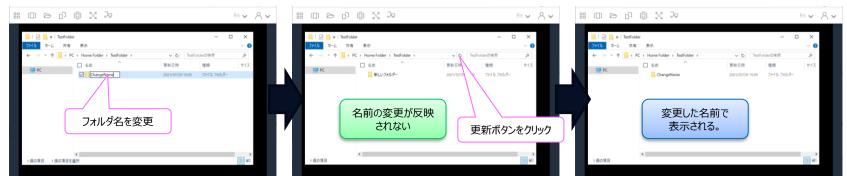
クラウド環境におけるエクスプローラは、操作の反映に遅れが生じます。なにかしらの操作を実行した場合 は、都度、更新ボタンでをクリックしてください。

例)

・フォルダの新規作成 → 更新ボタン をクリック → 「新しいフォルダ」が表示される。



フォルダの名前が変更される。 ・「新しいフォルダ」の名前変更 → 更新ボタン



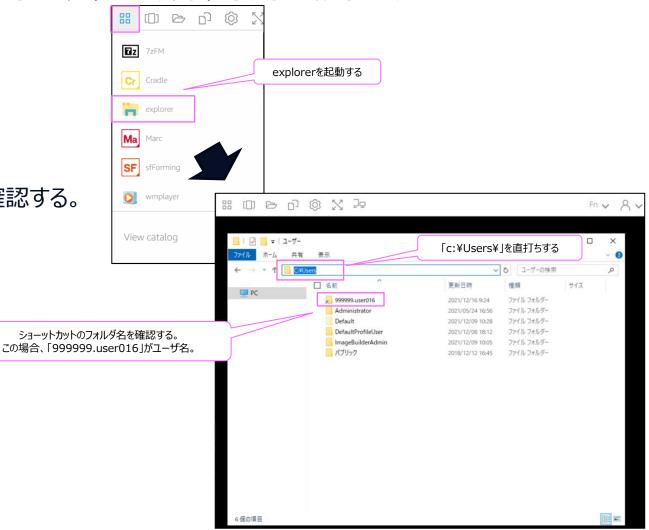


目次へ

【参考】クラウド環境におけるユーザー名の確認方法

クラウド環境におけるユーザ名については、以下の方法で確認することができます。

- 1. エクスプローラを起動する。
- 2.「C:¥Users¥」を直打ちする。
- 3. ショーットカットのフォルダ名を確認する。





NDESは ものづくり分野のお客様の未来を ITで支援します。

株式会社 NTTデータ エンジニアリングシステムズ



NTTData